

おおだてさんちの家計簿



おおだてさんの家は、会社員のお父さんと、パートで働くお母さん、大学生のお兄ちゃんと小学生の妹の4人家族。年収は500万円です。

- お父さんが働いて稼いだ給料
- お母さんが家計を助けるためにパートで得た収入
- おじいちゃん、おばあちゃんからの援助
- 車を購入するためローンを組むことに...
- 見込まれる支出に対して不足分を貯金から少し下りました
- 前の年の残り

収入 ◎一般会計の歳入に当たります			支出 ◎一般会計の歳出に当たります		
項目	金額	予算上の区分	項目	金額	予算上の区分
給与収入	127万円	市税	食費	103万円	人件費
パート収入	11万円	諸収入(使用料、手数料など)	医療費・教育費	91万円	扶助費
実家からの援助	300万円	地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税など	光熱費	67万円	物件費
銀行などからの借入金	39.5万円	市債	仕送り	58万円	他会計への繰出金
貯金取り崩し	2.5万円	繰入金	自治会費、保険料	72万円	補助費など、その他
前年の残金	6.5万円	繰越金	借入金の返済	69万円	公債費
雑収入	13.5万円	雑入(その他)	車の購入	39万円	投資的経費(普通建設事業費など)
合計	500万円		貯金	1万円	積立金
			合計	500万円	

- 家族の食事代
- 家族の病院代や薬代
- 東京で暮らす大学生のお兄ちゃんへの仕送り
- 新築した住宅と購入する車のローン
- エコカー補助金を使いハイブリット車を購入する頭金
- 将来のために貯金します

おおだてさんの家庭では、家族で稼いだお金(市税、諸収入など)だけでは1年間の生活に掛かる費用(支出)を賄うことが出来ません。そのため、親からの援助(地方交付税など)を必要としています。

今後、給料が増えることはあまり期待出来ず、医療費や子どもへの仕送りなどが増えていくことを考えて、無駄を無くして必要なところにお金を掛けられるようやりくりしています。

主な特別会計

国民健康保険	91億5,924万円
後期高齢者医療	8億4,712万円
老人保健	102万円
介護保険	76億955万円
介護サービス事業	7,963万円
休日夜間急患センター	3,862万円
田代診療所事業	6,613万円
農業集落排水事業	5億2,579万円
公営駐車場事業	4,242万円
温泉開発	1,364万円
奨学資金	2,928万円
都市計画事業	5億1,392万円

企業会計

病院事業会計	117億6,694万円
水道事業会計	19億43万円
工業用水道事業会計	6,952万円
下水道事業会計	30億9,774万円

一般会計 主に市税をもとに、市が基本的な行政サービスを行うための会計です。
特別会計 特定の事業の歳入と歳出を一般会計と区別して経理する場合に、法律や条例で設ける会計。本市では、国民健康保険や介護保険など18の特別会計を設置しています。
企業会計 地方公営企業の会計で、独立採算が原則。本市では、病院事業など四つの企業会計を設置しています。
義務的経費 人件費など支出が義務付けられている経費
投資的経費 道路や学校の整備など社会資本として将来に残るものの整備経費
依存財源 国や県から交付されるお金
自主財源 市が単独で賄うことが出来るお金



用語解説

一般会計

◆歳入
 財源の基幹になる「市税」は、75億4197万1千円で全体の25.4%になります。また「地方交付税」は、新政権の1.1兆円増額により地方財政計画で6.8%増となったことを受け、総額113億2124万1千円で38.1%となり、合わせると全体の3分の2を占めています。
◆歳出
 持続可能なコンパクトでバランスの取れた行政体の構築を目指し、経費は効率的な見直しを図ったうえで「少子高齢化対策」や「中心市街地の活性化」、さらには「雇用の確保」や「地域医療の確保」のほか「学校耐震対策事業」などにも対処した予算としました。